

## 第4節 蔵の街課

### 〔総括概要〕

蔵の街課の主な分掌事務は、蔵の街推進業務及び伝統的建造物群保存地区業務である。

蔵の街推進業務では、蔵の街を活かしたまちづくりのための調査研究を実施し、「蔵の街写真撮影スポット報告会」を開催した。また、蔵の街を活かしたまちづくりに関して市民の意識啓発を図るために、まちづくり講演会を開催した。

街なかの活性化を図るために、歌麿を中心とした文化のまちづくりに取り組んでいる団体等で組織した「歌麿を活かしたまちづくり協議会」と協働し、歌麿と栃木の関わりをより多くの方々に知っていただくため、「歌麿まつり」の開催や各種事業を実施した。

栃木固有の歴史的文化や風情、たたずまいを維持し、さらに向上させるため、「地域における歴史的風致の維持及び向上に関する法律（歴史まちづくり法）」に基づく「栃木市歴史的風致維持向上計画」を策定し、国の認定を受けた。また、歴史まちづくりに関して市民の意識啓発を図るため、講演会を開催した。

伝統的建造物群保存地区業務では、蔵を中心とした特色ある歴史的町並みを、良好な状態で次世代に引き継いでいくとともに、地区の個性を活かした持続可能な環境を造るため、文化財保護法に基づく伝統的建造物群保存地区に関する事業を行った。

嘉右衛門町重要伝統的建造物群保存地区においては、取得した味噌工場跡地内の伝統的建造物の修理を開始、令和2年度のオープンを目指すとともに、地区内にある個人所有の伝統的建造物の修理に対する補助や、建築物等の許可制度により歴史的な町並みの保全を行った。また「嘉右衛門町伝建地区まちづくり計画」に基づき地元関係者で組織した「嘉右衛門町伝建地区まちづくり協議会」とともに歴史的資源を活かしたまちづくり活動を実施した。

栃木町地区については、引き続き伝統的建造物群保存地区指定のための検討を行った。

### 蔵の街推進係

#### 1 蔵の街を活かしたまちづくり

##### (1) 蔵の街を活かしたまちづくり研究会

蔵の街を活かしたまちづくりのための調査研究及び実践をしていくことを目的に「蔵の街を活かしたまちづくり研究会」を8月に発足させた。研究会と市の連携により、江戸・明治、大正、昭和の時代ごとに「蔵の街とちぎ」をPRできるような写真撮影スポットを調査研究し、実際にその時代に合った衣装を身に着けて撮影した写真を市ホームページに掲載した。

実施日等	場 所	内 容
8月21日（火）	市役所 501会議室	第1回会議（蔵の街写真撮影スポットの検討）
9月	市内	撮影場所の調査研究
10月24日（水）	市役所 401会議室	第2回会議（蔵の街写真撮影スポット候補の発表）
12月	市内	撮影の実施
1月26日（土）	市役所 402会議室	蔵の街写真撮影スポット報告会 ワークショップ「研究会として、どんなことができるか」
3月 1日（金） ～	-	「タイムトラベル蔵の街」写真撮影スポット 市ホームページ掲載

(2) 蔵の街を活かしたまちづくり講演会の開催

蔵の街を活かしたまちづくりに関して市民の意識啓発を図るために、まちづくり講演会を開催した。

- ・実 施 日 1月26日（土）
- ・会 場 市役所402会議室
- ・来場者数 14名
- ・演 題 金沢における歴史的街並み保存とまちづくり
- ・講 師 金沢大学名誉教授 川上光彦氏

(3) 蔵の街を活かしたまちづくり庁内関係課会議

蔵の街を活かしたまちづくりの推進に関し、蔵の街に関わる事業を実施している関係課との連携及び調整を図るために、関係課による庁内関係課会議を開催した。

- ・庁内関係課会議部会 2回開催（7月31日、1月31日）
- ・庁内関係課会議 2回開催（8月7日、2月8日）

2 喜多川歌麿を活かしたまちづくり

(1) 歌麿を活かしたまちづくり協議会

歌麿を活かしたまちづくり活動を充実させるため、歌麿を活かしたまちづくり協議会と市の協働により、歌麿に関する各種イベントや歌麿の業績を広めるための研修会を開催した。

会議名	開催日
役員会	4月23日
理事会	4月25日
総会	5月24日
歌麿まつり部会	6月7日、7月5日、7月24日、9月11日、 12月7日

研修部会	5月 6日、 7月 1日、 9月 2日、10月28日、 12月22日、 2月24日
まちづくり部会	8月28日
「歌麿ゆかりの地」案内看板デザイン等検討プロジェクト会議	5月14日、 5月29日、 6月12日、 6月22日、 7月12日、 8月 3日、 8月17日、 8月29日

(2) 歌麿まつり

浮世絵師喜多川歌麿と栃木の関わりを市内外に広く周知するとともに、文化観光としての街なかの賑わいの創出を目的として、「歌麿道中」のほか、歌麿に関連するイベントを開催した。

- ・実施期間 9月29日（土）～10月14日（日）
- ・場 所 蔵の街とちぎ（とちぎ蔵の街大通りを中心とした街なか周辺）
- ・参加人数 約 18,000 人
- ・主 催 歌麿を活かしたまちづくり協議会
- ・共 催 栃木市、栃木市教育委員会

(3) 「歌麿ゆかりの地」案内看板・解説看板の設置

名 称	設置箇所
「歌麿ゆかりの地」案内看板	栃木市河合町（栃木駅北口）
「歌麿ゆかりの地」解説看板	栃木市万町地内外（10箇所）

3 歴史まちづくり

(1) 歴史的風致維持向上計画

栃木固有の歴史的文化や風情、たたずまいを維持し、さらに向上させるため、歴史まちづくり法に基づく、栃木市歴史的風致維持向上計画を平成29年度、30年度の2年間で策定した。

適切かつ有効な歴史的風致維持向上計画を作成するため、主務省（文部科学省、農林水産省、国土交通省）との事前相談を行った。

また、計画策定にあたり必要な事項の検討を行うために、関係課による「栃木市歴史的風致維持向上計画策定検討会議」を開催するとともに、学識経験者や各種団体等の意見を計画に反映させるため、「栃木市歴史的風致維持向上協議会」を開催した。

- ・主務省との事前相談 2回開催（5月25日、8月30日）
- ・主務省による現地視察 1回開催（11月19日）
- ・策定検討会議部会 2回開催（8月17日、11月15日）
- ・策定検討会議 2回開催（8月21日、11月15日）
- ・栃木市歴史的風致維持向上協議会 3回開催（7月30日、10月26日、2月12日）
- ・栃木市歴史的風致維持向上計画の策定 2月15日
- ・栃木市歴史的風致維持向上計画の国への認定申請 2月20日
- ・栃木市歴史的風致維持向上計画の国の認定 3月26日

(2) 歴史まちづくり講演会の開催

歴史まちづくりに関する啓発事業として、講演会を開催した。

- ・実施日 3月10日（日）
- ・会場 とちぎ蔵の街観光館 多目的ホール
- ・来場者数 31名
- ・演題 天下祭と山車人形—とちぎに残る面影
- ・講師 大妻女子大学 博物館 准教授 是澤博昭氏

重伝建係

1 伝統的建造物群保存事業に関すること

(1) 嘉右衛門町伝統的建造物群保存地区保存事業について

伝統的建造物の修理、建築物の修景に対して補助金を支出し、所有者への支援をした。

ア 伝統的建造物修理補助の実施

6件 38,184,000円

イ 建築物修景補助の実施

1件 6,000,000円

(2) 伝統的技術継承事業補助金

伝統的な技術を支える職人等の人材育成を図るため補助金を支出し、対象団体の活動を支援した。

・事業主体 栃木蔵の街職人塾

・補助金額 100,000円

(3) 嘉右衛門町伝統的建造物群保存地区における現状変更行為の状況

嘉右衛門町伝統的建造物群保存地区における建築物等の新築、増築、改築等の行為については、許可行為により伝統的建造物群保存地区の歴史的風致の維持に努めた。

・現状変更行為許可申請数 8 件

・許可件数 8 件

・不許可件数 - 件

(4) 栃木市伝統的建造物群保存地区保存審議会

栃木市及び栃木市教育委員会からの諮問に基づき、栃木市伝統的建造物群保存地区保存審議会を開催し、諮問案件の審議結果を答申した。

実施日	場 所	内 容
8月 8日(水)	市役所 庁議室	審議事項 ・平成31年度伝統的建造物修理事業について 報告事項 ・平成30年度伝統的建造物修理及び修景予定事業について 他1件

2月 5日(火)	市役所 議会委員会室	審議事項 ・嘉右衛門町伝統的建造物群保存地区保存計画の変更について 報告事項 ・嘉右衛門町伝建地区拠点施設整備事業について 他2件
----------	---------------	---

(5) 嘉右衛門町伝建地区履歴調査業務

保存地区の歴史的価値を守り活かすために、個々の伝統的建造物の詳細な履歴情報の収集・整理・分析を行い、守るべき歴史的価値について記録するため、調査業務を実施した。

- ・委託先 一級建築士事務所 のぶひろアーキテクツ
- ・委託料 6,500,000円

(6) 嘉右衛門町でんけん交流会の開催

地区住民の皆様及び伝統的な建物の護り手（職人）と研究機関、行政とが一堂に会し、嘉右衛門町伝統的建造物群保存地区の歴史的町並みの保存や地区内の皆様の安全安心な暮らしの持続を考え、関係者相互のネットワークの構築を図るため、嘉右衛門町でんけん交流会を開催した。

実施日	場 所	内 容
6月22日(金)	神明神社社務所	・空き家の現状と「あったか住まいるバンク」について ・空き家等の活用事例 ・空き家を解消するために
3月12日(火)	神明神社社務所	・嘉右衛門町伝建地区味噌工場跡地の利活用について ・防災事業の取組みについて

(7) 嘉右衛門町伝建地区総合防災訓練

平成29年度に策定した「嘉右衛門町伝統的建造物群保存地区防災計画」にもとづき、伝建地区を構成する大町・嘉右衛門町・泉町の各自治会住民が主体となった総合防災訓練を実施した。

実施日	場 所	内 容
1月26日(土)	大町地内	・通報訓練 ・消火訓練（D級可搬ポンプを使用） ・大町・嘉右衛門町・泉町各自主防災会、栃木市消防団第1・5分団、栃木市、栃木消防本部

2 伝統的建造物群保存地区拠点施設整備事業

「栃木市嘉右衛門町伝建地区味噌工場跡地保存活用計画」にもとづき、文化財及び周辺に残る伝統的建造物と一体となった町並みの保存並びに人と文化の交流を目的とし

た活用により、文化的向上に資する観光並びにまちづくり及び防災の拠点施設として整備を図るため、下記事業を実施した。

(1) 例幣使通り沿い建築物修理工事

拠点施設用地内の例幣使街道沿いに現存する劣化した伝統的建造物4棟の修理工事を実施した。

- ・請負者 (有)大兵工務店
- ・請負額 87,836,400円

(2) 例幣使通り沿い建築物修理工事監理業務

拠点施設敷地内の例幣使街道沿いに現存する劣化した伝統的建造物4棟の修理工事に係る監理業務を行った。

- ・委託先 A I S 総合設計(株)
- ・委託料 14,364,000円

(3) 例幣使通り沿い建築物内装実施設計業務

拠点施設敷地内の例幣使街道沿いの伝統的建造物4棟を保存活用するため、内装整備の設計を行った。

- ・委託先 A I S 総合設計(株)
- ・委託料 13,802,400円

(4) ブロック塀及びサイロ基礎撤去工事

拠点施設敷地内のサイロ跡地を臨時駐車場等として有効活用するため、隣地境のブロック塀及び残されたサイロ基礎の撤去工事を実施した。

- ・請負者 (株)大木組
- ・請負額 1,717,200円

(5) 土壁安全対策工事

9月の台風により、拠点施設敷地内の保存建物である土蔵の外壁が剥落したため、安全対策工事を実施した。

- ・請負者 (有)大兵工務店
- ・請負額 1,641,600円

(6) 拠点施設敷地内危険建物撤去工事

9月の台風により、拠点施設敷地内の保存建物である特定建物に接している下屋が崩落したため、撤去工事を実施した。

- ・請負者 (有)大兵工務店
- ・請負額 1,933,200円

3 嘉右衛門町伝統的建造物群保存地区を活かしたまちづくり

(1) 嘉右衛門町伝建地区まちづくり協議会について

嘉右衛門町伝建地区まちづくり計画の推進を図るために、嘉右衛門町伝建地区まちづくり協議会との協働により、具体的な取組を実現させるための検討を行うとともに、嘉右衛門町伝統的建造物群保存地区の住民・事業者に働きかけ、まちづくり活動を実施した。

会議名	開催日
総会	5月 9日
役員会	4月18日、12月17日

嘉右衛門町伝統的建造物群保存地区のまちづくりの実施内容

- ・花いっぱい運動（通年開催）
- ・クリーン作戦の実施 12回（月1回：原則、毎月第一日曜日）
- ・歴史勉強会の開催 1回（2月16日）
- ・活動内容の周知 まちづくり通信の発行 2回（4月19日、1月16日）

#### 4 地域おこし協力隊活動事業

人口減少や高齢化が進む本市において、地域外の人材を積極的に誘致し、その定住及び定着を図り、もって地域力の維持及び強化に資するため、地域おこし協力隊員を委嘱し、民間との協働により、嘉右衛門町伝統的建造物群保存地区の賑わい創出に向けた活動を行った。

##### (1) 嘉右衛門町伝統的建造物群保存地区「そば三昧&親子でそば打ち体験」

嘉右衛門町伝統的建造物群保存地区内の、泉町・嘉右衛門町・大町のそれぞれの拠点で、テイストを変えたお蕎麦を提供することにより、伝統的建造物群保存地区内に賑わいをもたらすイベント（そば三昧）を行った。また、とちぎあそびまつりとタイアップし、子どもが楽しめるイベント（親子でそば打ち体験、お話し会）を行った。

- ・場所：いきいきサロン『笑碗』、神明神社社務所、sumire-すみれ-
- ・日程：3月9日（土）9時30分～14時

##### (2) 嘉右衛門町伝建地区PR動画制作業務

近年、嘉右衛門町伝建地区内では、若い事業者達が開催する「クラモノ。」が人気となり、県内外から多くの観光客が訪れているが、同地区を紹介する若者向けのコンテンツが不足していることから、PR動画を制作し動画再生サイトで公開を行った。

- ・委託先 YUM innovation合同会社
- ・委託料 150,000円
- ・タイトル 「歴史の断片とレトロ可愛い町in栃木市嘉右衛門町」Part1・2  
動画作品15分×2本